

# 新着図書からおすすめの5冊

毎週火曜日は、新着図書の配架日です。本日11月25日（火曜日）の新着図書の中からおすすめの本を紹介します。インターネット予約・貸出は、12月2日（火曜日）からです。

## 『本の底力』

高橋 文夫／著、新曜社／刊、請求記号：019 /Ta,33

内容：ネット・ウェブ全盛のいまだからこそ、必要とされる新時代の読書法とは？ デジタル化ともなう異変やひずみについて考察するとともに、紙の本や雑誌、電子書籍の今後を展望する。

著者紹介：一橋大学経済学部卒。日本経済新聞ニューヨーク特派員、日経BP出版センター(現日経BPマーケティング)社長等を歴任。日本記者クラブ、日本出版学会等会員。著書に「雑誌よ、甦れ」など。

## 『成功する子の親失敗する子の親』

清水 克彦／著、学研パブリッシング／刊、請求記号：379.9/ Sh,49

内容：教育ジャーナリストの著者が、約250の中学受験家庭を取材してきた結果をもとに、「成功する子の親」と「失敗する子の親」の行動や習慣を対立構造で語る。親の生き方・考え方を变えて子どもの知性・感性を磨くヒントが満載。

著者紹介：1962年愛媛県生まれ。早稲田大学大学院公共経営研究科(現・政治学研究科)修了。政治・教育ジャーナリスト。著書に「ラジオ記者、走る」など。

## 『月をマーケティングする』

デイヴィッド・ミアマン・スコットほか／著、日経BP社／刊、請求記号：538.9/ Sc,9

内容：アメリカはマーケティングの力を最大限活用して、アポロ計画を成功させ、冷戦時代の宇宙開発競争に勝利した。PRとマーケティングの専門家である著者が、「史上最大のマーケティング作戦」としてのアポロ計画の姿を描きだす。著者紹介：マーケティング・ストラテジスト、プロの講演者。著書に「リアルタイム・マーケティング」など。

## 『二十四節気の暮らしを味わう日本の伝統野菜』

木村 正典／著、G.B.／刊、請求記号：626 /Ki,39

内容：金時にんじん、谷中しょうが、聖護院かぶ…。とおい昔から栽培されてきた伝統野菜を二十四節気でたどる。季節の野菜の特長や由来、各地での習わし、料理、沖縄の伝統野菜など、

野菜の魅力をカラー写真とイラストで紹介する。

著者紹介：(株)グリーン・ワイズプロデューサー。NPOジャパンハーブソサエティー専務理事。元東京農業大学農学部准教授。博士(農学)。著書に「有機栽培もOK!プランター菜園のすべて」など。

## 『障害のある子とともに歩んだ20年』

原 広治／著、ミネルヴァ書房／刊、請求記号：916/H,31

内容：家族の新たなメンバーとして障害のある子どもを授かった家族は、どのようにその現実に折り合いをつけていくのか。著者自身が障害のある娘と家族とともに歩んだ20年を、エピソード記述の手法を用いて丁寧に描き出す。

著者紹介：1959年生まれ。島根大学大学院教育学研究科修了。島根大学教育学部心理・発達臨床講座教授。地域療育活動「いちごの会」事務局長として障害のある子や保護者支援に携わる。

佐賀県立図書館 〒840-0041 佐賀県佐賀市城内二丁目1-41

Tel 0952-24-2900 Fax 0952-25-7049 E-mail [saga-kentosyo@pref.saga.lg.jp](mailto:saga-kentosyo@pref.saga.lg.jp)